

令和6年度を振り返って

倉敷教育センター 館長 藤田 哲彦

3月を迎え、ふれあい教室でも卒業を祝う式を各教室で実施しました。教育指導員の先生が作成した思い出ムービーでは、子どもたち一人一人のこれまでの頑張りはもちろん、御家族の皆様や学校の先生方、地域やボランティアの方々、ふれあい教室の先生方等たくさんの方が子どもたちを支えてくださっている姿が見られました。子どもたちの成長に喜びを感じるとともに、改めて皆様に感謝の気持ちで一杯になりました。



さて、教育センターでは、「教職員研修」「適応指導」「教育相談」「教育情報の収集と提供」といった4つの機能を中心に今年度も諸事業に取り組んでまいりました。ここで、それぞれの機能について振り返っていききたいと思います。

最初に「教職員研修」についてです。岡山県教員等育成指標等をベースにしながら人材の育成を図り、25の研修講座で延べ4,878名の方の受講がありました。法定研修の初任者研修と中堅教諭資質向上研修では、受講者の確実な成長が見られます。初任者研修では、講義や学校園での授業参観等を通じて確かな指導力や基盤となる資質・能力を身に付けることを目指して取り組んでまいりました。日々の授業実践や学級経営を行う中で芽生えた課題意識をもとに、受講者は主体的に研修に取り組むことができました。研修中の発言や研修記録シートの記述を見ても、経験に基づいた深みのある内容となっておりとても頼もしく感じています。中堅教諭資質向上研修では、学習指導案検討、互いの授業参観や授業動画からの学び合い、講師の先生からの御指摘等から、新たな発見や気づきが生まれていました。特定課題研究発表会では、内容の充実はもちろんですが、個別最適な学びを意識した実践等新たな取組も見られました。他の研修においても、多くの素晴らしい講師の先生方のお陰で、受講者が積極的に学ぶ姿勢が見られ、教職員としての成長を様々な場面で感じる一年でした。

また、今後研修履歴については、令和7年度の途中から全国教員研修プラットフォームの“Plant”に研修履歴を残すようになっていきます。ただし、年度初めの倉敷教育センター主催の研修の申し込みは従来通り、エクセルファイル等の研修教員等報告書にて提出していただくことになっていますので、大きな変更はありません。

「適応指導」では、倉敷ふれあい教室に通室する児童生徒が、友達や先生との活動を通して自己肯定感を高めていくことを目指しています。友達とのかかわりや、教育指導員の継続した受容的な言葉かけを通して、自分に自信をもって良さが発揮されるようになってほしいと願っています。令和6年度からは、これまでの対面指導に加え、オンライン指導も始めました。令和7年度も引き続き、対面でもオンラインでも支援できるようにしていきます。

「教育相談」では、必要に応じて関係機関につなぐことを意識し、教育指導員や臨床心理士による相談を行ってきました。相談を担当する教育指導員は相談される方の気持ちに寄り添った相談となることを心掛けてきました。最近是不登校に関する相談件数が多くなり、ふれあい教室や学校、他機関等とも連携しながら、子どもや保護者の不安を少しでも取り除くことができるよう取り組んでいます。また、特別支援教育・不登校がテーマの座談会「とらいあんぐる」「かけはし」を通して保護者支援の充実を目指しました。

「教育情報の収集と提供」では、研究集録、教育雑誌、書籍、教科書を展示し、今後もこれまでの教育とこれからの教育をつなぐ役割を果たしたいと思っております。



最後になりましたが、各学校園の校長先生をはじめ、研修講師の先生方、初任者研修で日々御指導いただいている先生方、受講者の先生方、その他すべての皆様に、1年間、教育センターの諸事業に温かい御協力をいただき、心から感謝申し上げます。今後とも変わらぬ御理解と御支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

☆ 令和6年度 全研修講座が終了しました ☆

中堅教諭資質向上研修 最終回

「特定課題研究発表会」



特定課題研究発表会では、中堅研受講者がそれぞれのテーマで1年間研究実践を重ねた成果を発表しました。発表内容は、教科指導、学級経営、特別支援教育、生徒指導、ICT活用等、多岐にわたっていますが、どの発表にも「子どもたちにこんな力を付けたい」という熱い思いがありました。異校種の取組や他教科の実践を知ることも新たな学びとなり、中堅研の仲間がそれぞれの分野でがんばる姿は大きな刺激となったようです。

また、3年目研修の受講者は、自らの課題や研究に資するようにと発表会に参加し、熱心に質問をしていました。校長先生や来年度中堅研を受講予定の先生も聴講しました。

中堅研受講者は、この研修をステップアップの機会とし、今後より一層の自己研さんと、ミドルリーダーとしての飛躍が期待されているところです。

【中堅研受講者の研修記録シートから】

- ・ 1年間にわたる特定課題研究はとても大変そうだなと思いましたが、課題を見つけ、仮説を立てて検証し、またより良い授業を求めて研究していくという姿勢は教師にとってとても大切だと改めて感じました。
- ・ どの先生も子どもの実態をしっかりとらえられており、それに応じた的確な手立てを考えていて、どうしたら子どもの力を伸ばしていくことができるのかを一生懸命に考えている姿に刺激を受けました。
- ・ いろいろな校種、立場の先生方の発表を聞くことで、自分になかった視点ももらえたり、挑戦してみたいことが出てきたりして、とても新鮮でした。中堅教諭として、若手の先生に経験を伝えていきたいです。

【参加された校長先生から】

中堅研の先生方が自校の学校課題を明らかにし、研究を進め発表するという過程がとても良いと思っています。同世代の先生方で学び合い、刺激を受けることが、何よりもこの会の大切なところだと感じます。自分の研究、仲間の研究を中堅教諭としていかに自校にもち帰り伝えていくか、どのようにいかしていくかが本当に大切だと思います。

3年目研修 最終回

実践発表「学級経営・教科指導」

3年目研修の最終回は、各自がテーマを決めて取り組んできた教科指導または学級経営に関する課題研究の実践発表及び協議でした。

【受講者のアンケートから】

- ・ 3年目の先生方の実践を聞いて、学級経営や教科指導の引き出しが更に増えました。また、課題設定をした6月の自分と考え方が大きく変わっていることに気づきました。アクティブな学習者として研究を続け、これからも成長していきたいです。
- ・ 学級経営や教科指導の内容は、どれもとても参考になるものでした。同じ3年目の先生方が高いレベルで経験を積んでいたのも、私も負けないように明日からの仕事に向き合っていきたいと思いました。ICTの使い方も人によって大きく違っていたので、いろいろな使い方の中で、自分や子どもたちに合った方法をこれからも考えていきたいです。



令和6年度受講者数

(延べ人数) 合計 4,878 名

1 初任者研修(新規採用学校栄養職員を含む)	1,615 名	14 幼児教育研修	313 名
2 2年目研修	262 名	15 学校事務職員研修	110 名
3 3年目研修	253 名	16 学校事務職員スキルアップ研修	82 名
4 中堅教諭資質向上研修	752 名	17 新規採用学校栄養職員研修	2 名
5 16年目研修	158 名	18 教科教育基礎研修	137 名
6 新任教務主任研修	90 名	19 教育のユニバーサルデザイン研修	205 名
7 新任特別支援学級担当教員研修	163 名	20 特別支援学級スキルアップ研修	63 名
8 新任特別支援教育コーディネーター研修	154 名	21 発達検査研修	48 名
9 通級指導教室担当教員研修	71 名	22 学校カウンセリング研修	29 名
10 生活支援員研修	32 名	23 子どもの発達を考える会	49 名
11 新任講師研修	47 名	24 生徒指導研修	128 名
12 2年目・3年目講師研修	64 名	25 学校・家庭・地域の連携促進事業関係者等研修	34 名
13 幼稚園助教諭研修	17 名		

初任者研修最終回 記念講演

「教師の皆さんと一緒に取り組みたい令和時代の学び

～本物体験で子どもの未来のきっかけ作りを～

株式会社みらいスクール 代表取締役校長 菅野 高広



初任者研修最終回では、『子どもの未来のきっかけ作りを目指した令和時代の学び』について考えるとともに、教員人生を歩んでいくことへの意欲を高める」ことを目的に、記念講演を開催しました。

講師の菅野先生は岡山県出身で、体験学習プラットフォーム『ギフト！』で学研アクセラレーター特別賞を受賞し起業。株式会社みらいスクールを立ち上げ、子どもたちに様々な本物体験を提供されています。体験を通した学びの意義や、新しいことに挑戦するアントレプレナーシップ（起業家精神）について、御講演をいただきました。

【研修のキーワード】

本物の体験、キャリア教育
アントレプレナーシップ
勇気を出して踏み出す
授業はメッセージ

<受講者の振り返りより>

- 早いうちからいろいろな体験をしていくことで、視野が広がり様々な世界を知ることができます。それによって、将来の夢や目標が明確になり、選択肢が増えていくと感じました。勇気を出して踏み出し、諦めずにやり抜く子どもたちを育てたいと改めて思いました。菅野先生がおっしゃる「未来からの留学生」がたくさんの経験を積んで未来へはばたけるよう、日々関わっていきたいです。
- 今回の研修から、私の言葉が子どもたちのチャレンジ精神を潰してしまっていないかと振り返りました。私は普段「危ないよ。」という言葉をよく使っています。子どもが何か新しい遊びをしていると心配になり、その遊びをやめさせることがありました。これから生きていく子どもたちには、誰もやっていないことに挑戦するような活力が必要だと思えます。危険な行為はよくないですが、子どもの「やってみたい」を尊重できる言葉かけを日頃から意識していきたいと思えます。
- 普段の生活の中で、国語や算数などの授業ばかりに捉われてしまい、子どもたちが本物体験を経験できる機会が少ないと感じました。子どもたちが「社会に出たい！」と思えるキャリア教育も大切にしたいと思えました。本物でしか学べないこともあると思うので、多くの経験を子どもたちと一緒にいき、子どもの未来を支えていくことのできる教師になりたいと強く感じました。
- 菅野先生のお話を聞き、0から1を生み出す力が現在の学校教育に必要なものだということを感じました。現状を改善するために自分が何をすべきか、どう変えていくべきかを考えることが、自分には必要だと思えました。今あるものに新たな考えを取り入れ、よりよく生きるために努力していこうと思えました。
- 体験学習の重要性がもっと世の中に周知されるとよいと考えました。周囲の大人や社会全体の理解があると、このような活動がしやすくなり、子どもたちものびのびと学ぶことができ、これからの時代を生きるたくましい人間として成長していってくれると思います。そのためにも、我々教師も学び続けなければならないし、様々な方と協力していく必要があると考えました。

倉敷ふれあい教室めぐり

☆☆ 倉敷教室 ☆☆

☆ 恵まれた教育環境の中で
のびのびと・・・

倉敷ふれあい教室倉敷教室は、くらしきシティプラザ西ビルの8階にあります。窓からは倉敷市内が一望できます。倉敷駅に隣接しており、交通の便のとても良い場所です。

周辺には、倉敷みらい公園、倉敷市立美術館、自然史博物館、倉敷中央図書館、美観地区、倉敷北児童センターなど多くの文化施設や教育施設があり、恵まれた環境の中で様々な活動に取り組んでいます。

「なかよし活動」では様々な工作や手芸、木工などの創作活動、書道や英語（NETの先生との活動）などの学習活動、その他にも映画鑑賞や倉敷みらい公園でスポーツも行っています。地域に出かける活動としては、倉敷中央図書館での読書、自然史博物館での見学、美観地区の散策、阿知神社での初詣、倉敷駅周辺の清掃活動、公共交通機関を利用した遠足などがあります。

「スタディ」の時間は机に向かい、それぞれ自分に合った学習内容に一生懸命取り組んでいます。

倉敷教室の今年度の目標である「チャレンジ」をキーワードに、新しいことにも勇気をもってチャレンジをし、次の活動へつなげていけるように頑張っています。「やってみたらできた」という達成感や、「やればできるんだ」という自信がもてるよう、日々いろいろな活動に取り組んでいます。



【 折り紙工作 】



【 倉敷みらい公園 】

そうだ！

教育センターの 教科書展示室

に寄ってみよう！



教育センター
事務室の隣だよ！

研究集録 を読みたい！

教科書 を比べてみたい！

展示内容

- 各発行者の教科用図書(教科書)
- 倉敷市内の小、中、特別支援学校の研究集録
- 研究団体の研究集録(岡山県や他市の教育センター等)
- 教育に関する雑誌・図書
(「教育時報」「実践みんなの特別支援教育」「学校教育相談」等)
- 研修講座での実践発表、作成した学習指導案等



☆ 最長1か月まで、貸し出しが可能です。

※ 教科用図書、研究集録等は閲覧のみのものもあります。また、貸し出しができない期間もあります。

☆ 開館時間は、月曜日～土曜日の9時から17時15分です。(日曜日と祝日は閉館日です。)

※ 月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)はライフパーク倉敷の休館日ですが、教育センターは開館しています。入口の御案内をしますので、来られる方は事前に御連絡ください。

倉敷教育センター ☎ 086-454-0400

「☆本(ほしぼん)」 「拡大教科書」を知っていますか？

特別支援学校では、小・中・高等学校と同じ教科書のほか、子どもの障がいの状態に合わせて作成された教科書などを使っています。文部科学省では知的障害者用に、通称「☆本(ほしぼん)」と呼ばれる著作教科書を作成しています。小学部用には「こくご」「さんすう」「おんがく」「せいかつ」、中学部用には「国語」「数学」「社会」「理科」「音楽」「職業・家庭」があります。また、「拡大教科書」は文部科学省の検定を経た教科書の文字や図形を拡大して複製したもので、視覚障害のある児童生徒が使用する教科書です。小中学校の通常学級や特別支援学級、特別支援学校において無償給与されています。両教科書とも倉敷教育センターで閲覧が可能です。



特別支援学級等の指導の参考にも！